

きららフェスティバル深沢（第40回深沢学習センターフェスティバル）開催レポートです♪

10月4日（金）～6日（日）で開催された「きららフェスティバル深沢」は学習センターのフェスティバルの中で最も多い開催40回目を迎えます。発表20団体、展示・販売9団体の29団体の出展で行われたフェスティバル深沢の様子をご紹介します。



フェスティバルは出展者と学習センター事務局と「設営から撤収（片付け）まで」協力して行います。まずは初日の前日10月3日（木）11時から、各団体のお手伝いの方々が会場に集まり総勢30名ほどで、会場設営を行いました。1階ロビーでは盆栽展示とお茶のふるまい、第1集会室ではエコクラフトバックや七宝焼アクセサリーの展示のように、各階の展示や販売、発表のための椅子や机を運び、展示用の有孔パネルなども組立ってます。力仕事も多いのですが、出展者のみなさんはベテランの方が多く、テキパキと作業を行い、あっという間に準備が進んでいきます。



大まかなレイアウトが整うと、そこからは各団体の展示や販売の準備が始まりました。来館者が楽しめる、見やすい展示や配置になるよう会場を設えていきました。





10月4日（金）いよいよ開催初日です。この日は小雨が降ったりと変わりやすいお天気でしたが、1階ロビーでは早くから大勢のお客様が来館されました。1階ロビーで行われている「お茶のふるまい体験」やパンの販売、各集会室の展示などを楽しまれていました。



1日目の3階第6集会室、発表会場では気功体操「気功体操 円の会」、ウクレレ「鎌倉プルメリア」、ギターアンサンブル「ウインディ」、朗読「朗読サークル 文鳥の会」、ハーモニカ「鎌倉ハーモニーメイツ」の演奏が次々と行われました。ウクレレ演奏の「鎌倉プルメリア」は、最後に「上を向いて歩こう」をお客様と合唱をして楽しい発表となりました。本日最後の演目「鎌倉ハーモニーメイツ」は40周年の記念ステージでたくさんの曲を披露し盛況に行われました。



きららフェスティバル深沢の大きな特徴の一つは、「販売」があることです。今年度も3団体が出展しました。1階ロビーで（10月4日のみ）販売を行ったのは「鎌倉はまなみ」です。手頃な価格で種類も豊富なパンを販売して、このパンを楽しみに来た方もたくさんいらっしゃいました。

3階ロビーで販売を行ったのは、「地域活動支援センターぶどうの木」と「虹の子作業所」です。

「地域活動支援センターぶどうの木」は手工芸品の販売を行いました。中でも今治タオルの端切れを機織り機で編んだマットが、丈夫で肌触りが良く、とても使いやすいと購入した方から好評でした。

「虹の子製作所」は無添加のパウンドケーキやクッキーをたくさん販売して、どれを買おうか迷うほどでした。3団体ともに前年度に引き続き、たくさんの販売品をそろえて来館者を楽しませてくれました。



10月5日(土)2日目の発表はギター演奏「ギターサークル エスカーラ」からスタートし、ギターアンサンブルの「鎌倉ギターラ・エルマノス」、11時20分からは琉球舞踊「鎌倉・四ツ竹の会」の発表です。「鎌倉・四ツ竹の会」は厳かな舞踊と軽快な舞踊を、素敵伝統衣装で披露されました。「鎌倉深沢教会」の発表では、楽器の演奏や、フラ、合唱など色々な演目が楽しめました。さらに「リコーダーアンサンブルf」のリコーダー演奏、「プウヴァイ アロハ」のフラダンス発表が行われ2日目も終了しました。



展示部門のご紹介です。1階ロビーでは「松風会」のお茶のふるまいが人気でした。その横では盆栽や絵画の展示「深沢あかね会」がロビーいっぱい作品を披露していました。1階第1集会室ではエコクラフトやPPバンドを使いバックや小物をたくさん出展された「タカ'S エコ~クラフト手芸サークル~」、色々な種類の七宝焼アクセサリーの展示は「釉美の会」です。どちらの団体も作品販売も行いました。



3階では第5集会室「ドライフラワーサークル花空間」のドライフラワー、第6集会室「国美会」のパステル画の作品展示がありました。ドライフラワーは生のお花の一番きれいな状態を乾燥させて、容器に入れ美しく仕上げた作品です。容器を密閉させること、空気に触れさせないことで保存ができ何年もこの状態を保つそうです。



フェスティバルでは展示・発表を通して普段はあまり知ることのできない世界に触れることができます。制作者や指導者から直接お話が聞けたり、体験などもあるので興味のある方にはとても良い機会だと思います。今回もみなさんそれぞれのお話が聞けて、「そうだったんだ」「やってみたいな」と思うことがたくさんありました！

10月6日（日）最終日の発表です。「腹式呼吸クラブ」「深沢太極拳同好会」は第6集会室の広いスペースを使い、発表と体験指導など行いました。見に来た方々も参加し、先生のお話を聞きながら体験を行いました。続いて「ベッラヴェルデ」の合唱、「フラ鎌倉」のフラダンス、「マリーズ」のコーラスと続きました。

きららフェスティバル深沢では、フラの発表が3団体ありました。いずれも素敵な笑顔と表現力で、会場が爽やかな空気になり、見ている方々も自然と笑顔になっていました。日常を離れ良いひとときになりました。



発表の最後は詩吟「菊水会」「城南吟詠会」「青嵐会」、日本舞踊・詩舞「美雪会」です。詩吟の発表は、1人で行ったり、グループで行ったりと色々な発表がありました。客席からの声援などもあり、とても和やかな雰囲気でした。日本舞踊・詩舞の披露では「迫力がある」など見る方々を魅了していました。発表者と観客が一体となり盛り上がった発表になりました。

フェスティバル最終日は15時に終了し、15時30分からは、各団体の方々と学習センター事務局で会場の撤収作業を協力して行いました。



今回第 40 回となったきららフェスティバル深沢は、3 日間通して来館者も多く盛況に終えることができました。新しい子ども向け企画「キッズチャレンジ」も行い、多くのお子さんと保護者の方々にも来ていただきました。ご来館いただきありがとうございました。11 月 1 日からは「きららフェスティバル玉縄」、11 月 15 日から「きららフェスティバル大船」が開催されますので、みなさんぜひ新しい何かを見つけにお出かけください！
以上「きららフェスティバル深沢」のレポートでした。